

うず

駅などの2人が横に並べるくらいのエスカレーターに乗る時、東京では立ったままの人は左側に立ち、右側はエスカレーターを歩いていく人(あるいは駆けて行く人)のために空けておくというのが一般的なマナー、あるいはルールになっている。

昔このルールが広く知られる前は、田舎者はマナーを知らないだとか、若者のマナー違反(ルール違反)とか、関西では右と左が逆だとかいろいろなトラブルがあったが、今はもうほとんどだれもが共通のルールに従って行動している。

近ごろ見かけるのは、皆がエスカレーターで立とうとして、エスカレーターの

エスカレーター

入り口(乗り口)の左側に長い行列が続き、右側はだれも通らないという風景だ。

どうせ皆が立ったまま行くのなら2人ずつ横に並んで乗れば2倍のスピードで行けるのに、右側を空けるためにせ

いく人ばかりが増えた結果、かえって非効率なルールになってしまった。

こうなってもいったんできたルールはなかなか変更するのは難しいようだ。時には歩く人が大勢いるような場合もあるが、歩く人がいてもいなくても皆礼儀正しく行列をつくって左側に乗っている。

このエスカレーターのルールと、その結果の長い行列はよく目に見えるものだが、普通はいろいろなルールとその結果起こっていることはなかなか直接目で見ることはできない。エスカレーターの場合と同じようなことが方々で起こっているのかもしれない。

(幸太郎)